













悟道軒圓玉口演

**人蔘王天**

京城本町壹電番一八七〇番  
津村兄弟商會

壬戌三月十日取付

は新宮へ問合すれば事明白であらう。大「ア、ハ、ハ、ハ、血脈も今日迄な相州より紀州新宮まで態々問合る暇はない、何と申しても十兵衛を殺して金手を奪つた盗賊に相違ない、ヤア」繩つて引立てよ。  
「心得ました」と數々の組子、バラ／＼と取巻いて小太郎に繩を懸けんとする勝義大に怒り、小「無禮なり松田大學、此上は我本名を申聞れる、拙者は常陸原の城主土佐守勝重の大次郎原小太郎勝義なるぞ、師七浪伊勢守の命に依りたるを、戸澤山城守の手許に播州花隈なる戸澤山城守にあつて、修業なし、仔細あつて歸國の途中、吳縣とは言ながら常陸原の主たる探郎に盜賊の汚名を與へたる不届者、大罪に依れば手は見せねど」と威丈高になつて鞭付けると松田大學ハツと膝へ退がつて平伏した。

四月二十日九月

は濟きさんぞ、大盜人猛々しいこ  
は汝の事、何ぞ理窟を申すとも、金  
子の出でざる中は其方が盡んだも  
のと思ふより外はない、第一の  
不審は汝の着料の其れなる一刀、  
柄、特に血の汚れあるが何より、體  
據、定めし其他にも惡事を働かざ  
人を殺した覺けがあらう、何うぞ  
や、小之れはしたり武士たる者が  
次第に依らば人も聊か賊を退治い  
たす事もある、これは擡州より船  
にて熱田へ參る海上、熊野浦にて  
海賊を斬り、其節柄を汚せしま、  
修納の暇なく差して居る、其時の  
有様は新官の代官所へ届け出で、  
船頭も證人として口實を申しあれ

外科一服 皮膚科  
泌尿器科 花柳病科

京城安樂町三丁目金光教養院  
院長 安部修三

京城壽町  
電話五七八

[illegible]

お待兼ねの！  
若手揃ひの大一座

○愈々晩り  
浪花館

電話 八三三  
大正館

大阪登喜和會

原貨料  
東洋物産會社

南都鐵瓶製造問屋

高見商店

天祐堂

振替東京入六六四

本館新式會館南都鐵瓶問屋

電話 八三三

大正館

大阪登喜和會

原貨料

東洋物産會社

高見商店

天祐堂

振替東京入六六四

[illegible]

▲されど悲観つぐはんする勿なれ

然り私は藝術家である。人々を  
 思想に導く新しい技術。人は漸  
 々私を認め、初めた。不敵の時  
 更に一層の努力を要する時  
 不幸運鈍鈍は私を困たす  
 思は荒れ、私は荒んだ。思は  
 間から獲られんとした。思は

◆我は藝術家である

▲暫く歎を止めて讀め

然らざる。若しもの時、  
 村塾博士の胸に藝術の  
 心に燃えなかつた。思は  
 頭は復たした。技も進  
 幸は永へに去つた。私の  
 は健康又が、醒らせだの

◆僕は學生である

頭腦は明晰を失ひ、記憶



**◎我は實業家である**

「神醫略」の論議を見る事、筆を指す如き操縦に何時か果せたるは予一の襟袖に増す。あゝ我が至極も精々たるものか。い否、否、天は是を捨てなかつた動

**◎我は官吏なり**

某官邸の門前を通過する一婦人に被褥の類を携へて何う云ふ者が頭を擧げ、俺も、仕事に油を許して宮に眠まれる同僚には天はる失態を出さず、頃の大酒からの勝利統の故

**◎僕は健脳丸である**

丹不西で幾多の親せむらひは丹不西の新薬のみを主として敬慕し、其の下に調製された健腦丸効力である。僕を愛用する方々は、疑病症は素中漢平、脈光血不足、痛り通上頭痛、便秘、不寐、遺精、逆上力を増進し、面黄肌白ならしめ

あらねど健脳丸を用ふる不眠、驚悸、逆上憂鬱のは、癖がなくなつた。び香の味は立つた。今功は一に健脳丸の賜で

漸く解つた。早速健脳丸した所、氣分も爽快になり、昨日午申時頃、頭痛明快。今般復受た。

ける作用がある。實際を運用して見れば其の効果を了解出来るであらう。價は四圓七錢から半週分一週分七錢から一週分ある。計は有名な大康丹日商會、同丹平支全國海外各埠頭に取次販賣する。速に求め給へ。

**肺結核に對する**

理想的滋養劑として  
レケモンの賞用せらるゝ理由

(一) 其八十五プロセントは吸収せられ易き蛋白質なるを以て速かに榮養を増進し一般機能を佳良にし衰弱を防止す

(二) 肺結核に對し一種微妙の作用を有するカルチウム鹽を含有するが故に病勢の進行を止め、食欲を進め、營養物の吸収を佳良ならしめ、血液の濃度を増す

其他レケモンは總ての病中病後の衰弱に極めて有効にして現今醫界の信認最も厚し

定價  
百グラム 金貳圓貳拾錢  
貳百五グラム 金貳圓貳拾錢  
四百五十グラム 金四圓五拾錢

大坂市東區道修町  
一手販賣店

武田長兵衛商店



櫻 ちらほら  
お出掛には「ゼヒ寶丹の  
御用意が大切！」

起死回生  
回生起死

家庭に外出に寶丹は是非必要！  
 應急用に 何時何所で急病が起らうとも又醫者の來て迄の急病に用いても、寶丹をへあれば何より安心！  
 日課的に 研々缺かきき寶丹を服用すれば病魔を驅逐し健康を増し常に愉快に二倍の活動が出来る！  
 主 氣、腎、症、肝、症、肺、症、精、神、衰、弱、  
 治 過、勞、過、食、下、痢、腹、痛、食、傷、水、瀉、  
 効 霍、亂、吐、瀉、中、暑、日、射、病、寒、冷、吐、瀉、  
 能 痢、疾、絞、痛、消、化、不、良、惡、疫、瘧、疾、  
 本舖十番守田兵衛  
 東京市下谷區金町三丁目七番  
 (全國各地藥店ニ有リシ)  
 價定 金十錢、金廿錢、金卅錢  
 金五十錢、金壹圓、金貳圓  
 實價以上ニ、優美ナル  
 郵費別添アリ





發 行 所

△) 利の二字 蘇峰

に入學志願者があるであらう。茲に慶應に在るは總督府で、  
 別に慶應二名の朝鮮女生生を  
 養へるに於て、京へ遊學せしむる  
 事となり、其一名には醫學を修  
 め、半島に弘通し、朝鮮を文明化せ  
 せしむることとなつたといふ事だ  
 といふ。其後十二年に於て、  
 是程遊學民族は日本人に類似して居  
 るのである。露西亞の歴史は併呑の歴  
 史である、萬有國家を併呑して今  
 日の大を爲した文に種々多々民族  
 が居る、之は苟くも露西亞の國

私の開闢りであれば、かじめなり。李朝に至りて、大に佛教を排斥し、宮中に於る一切の儀式を撤し、年少の僧侶は還俗せしめ、老者は之を城外に黜け、都部の淫祀は嚴禁した。而して付尼の城に入を禁ぜられ、其説法は制喪せられ、佛教は全く萎靡不振に陥れ、佛敎は全く萎靡不振に陥れ、日本を除いて「オヤ此奴は日本人によく似たるな」と思ふものは

力強く反對があつたが、今や彼等の能力は充分に認められるやうなつた。現に佛國の戦線には英女醫のみで營繕して居る野戰大醫院がある。日本でも女醫の位置次第に進み、今では有効なる働をして居る。朝廷に於て多くの女醫を以て今日に近しき佛朝が常務として、最も權威あることは、今尚ほ一般民衆の深く信ずる處にして、佛は偉大なるもの、佛の依は廣く大敵となるものとして、彼等の胸奥に倣ひ、機に關れる時に應じて、爲警備を見る。其の一列を舉ぐれば、人の將に死せんとするや、大抵報復記者は柯公氏の言ひ草を思ひ出して一種の共鳴を感ずると共に「新西亞の大」と云ふものが實質に見えやうな氣がした。

四、愛すべき不統一

○露西亞を好く支那に比較する人があるが韓土の大と云ふ點から云へば、

宗教には、佛教あり、基督教あり、  
地にも勝れて、佛教の發達、佛祖  
愛すべきものと、決して排斥する

であるのみならず、朝鮮人一般に  
能率を増加する所以である。

三 笑 生

「南無阿彌陀佛」を唱へて、未後の  
安心を與ふるが如き、其處にも佛  
教的色彩は、顯けにも所隨に發見  
せらるゝ所にして、朝鮮には概か  
に佛教復興の要素ありて存するを  
見る。されば我日本、の佛陀朝鮮の  
不統一と云ひ矛盾と云ふは極めて  
愛すべきものと、決して排斥する

ても人口の多寡から云つても支  
那は到底露西亞の比ではな、強  
て似通つた點を舉ぐれば統一の  
ない矛盾の多いところであらう  
露西亞は不統一な國である、矛  
盾の多い國である。然し露西亞の

曰く何、曰く何多種多様な合理的の趣に近し、國土の心情に必要がないのみならず、之が又筆に難も、然も最も朝鮮人の教化に適切せる宗教は、是に依り、適合せる宗教は、是に依り、内鮮人同化の要素たる、其通ぜざるの合理にして、且つ最も容易なるを情せずんばあらず。

思想を遺棄し、趣味の調和を圖要するに、之が復興と否とは、根本的に徹底せる親善を計り、眞に吾人が高唱しつゝある朝鮮人の心ならずる可からず。此意味の教化と同化とに、重要意氣の存する露西亞の大を爲す所以ではあるまいかと思ふ。

○記者は滿洲に於て其幾多の例證を見る。

提 七十七番 青島 藤澤 恒

於て其宗教は、迷信暗いものゝ又  
 無徹底なる政策的のものにあら  
 して、人間の必然的要求より湧  
 する宗教、即ち克く人類社會の  
 利益を保障するものにして、其根  
 柢を我々天壤無窮の國體の上に置  
 け其國民性も調和するものなら  
 するもの、豈に識者の一考せざる  
 可からざる事ならずや。

浦鹽うすしほ 西村 生 (三)

ミ寄り合ひ世帯  
 波濤 拍つ所文明の起る所以

遊芳野 七十七 葉野 軒村 素介  
 花開花落幾有風 滿目林梢惜却  
 空 無復游人跡 蹊跡 殘紅氣  
 斷古行宮 響字 而此情猶上

一 王統近三千歲 全世界中  
 第一 我我國無敵 萬一系同有  
 無此花 此花 非無敵也 萬一系同有  
 云遊芳山莊紀 壯士不敢侮花王

[illegible]

舊龍山元町四丁目漢江畔電車終點  
 船遊樂共樂社  
 電 話 五二八番 社 主 富 山 武 盛  
 京都帝國學  
 科大學教授  
 理學博士 松井元興先生著  
 (新刊)

分析化學

新刊

本書は邦化學界の權威として名聲ある著者京大の深澤達也に研究に基き理論と應用とを兼ねて現行化學に最も進歩せる記述を試みんとして成れるものにして斯く研究に乏しく我學術に一大光明を照らすものも云ふべし理化學藥學藥劑農藝化學衛生化學研究等勿論各種分析者に採て唯一の根據也

東京大東洋書房  
京都大東洋書房  
大阪大東洋書房  
東京大東洋書房  
京都大東洋書房  
大阪大東洋書房  
東京大東洋書房  
京都大東洋書房  
大阪大東洋書房

日本少

五月號  
▲新浦島太郎  
▲豪傑野球團  
●冠軍者  
●小光輝  
●小光輝  
●小光輝

五  
▼歴史  
物語  
涙の  
五月雨  
吉屋信子  
今宵  
劇場

月 號  
詩 口語  
殘  
された  
祖母  
水星呼

五月號  
▽  
新工  
夫  
一分  
間  
▽  
寫  
的  
衛  
生  
▽  
寫  
し  
繪  
▽  
五  
段  
變  
の  
繪  
卷  
▽  
以  
が  
副  
の

[illegible]

# 年

毛皮天產物輸出入商  
 橫濱御年町二丁目三十八  
 阿部孝一商號

郵稅  
 五厘  
 江原道華川郡龍華園有林所  
 第一號  
 立木  
 第一號  
 立木  
 第一號  
 立木

一冊  
 一乾燥月御作業室額拾五點  
 右銀月御細月入日降  
 朝鮮總督府官報之見

## 立木及木材

公賣

## 朝鮮總督府

錢五十

一冊

年菊ちやん  
有本芳水  
七年東京

頃の浦合戦▼母の夢  
我妻  
七年橋

不國の學生▼出兵法  
共著  
七年一

猫のお化  
松山恩米  
五年鐘

十  
五  
右五月八日午前拾時公賣入札ニ就  
ス詳細ハ四月十八日降朝報總覽  
府官報熟読スベシ  
大正七年四月十八日

二、齋村武六參八本  
五〇、五四尺  
四七、壹八六尺  
江原道華川郡岩東面東方里所佐  
第一式カブツ九本材式五參本  
一、式カブツ九本材式五參本  
八五尺、八

歌烏鳥勘三郎  
 寄花七  
 分京  
 年東  
 半  
 錢五  
 發售  
 大性  
 詳稱  
 江原道  
 購買朝鮮遞信局  
 總督府參事  
 郵政總局  
 本府官署  
 在正  
 鑄業權公賣公告  
 一、濟南府、生原、民名  
 二、京府、大和町三丁目、十四番地  
 三、公賣財產、名稱、種類、造價  
 四、五、造價

**長良い少女植樹圖書報**

記者 本井 親典  
編輯 三浦 武夫

**其の二**

所住 京師區金銀鐵工拾壹萬〇四百坪  
京畿道長湍郡小石時  
三浦縣大正七年四月二十九日  
長湍郡廳大正七年四月二十九日  
正午十二時即時開札  
入札人ハ買受見積價格ノ便宜  
ヲモトメス  
五人以上ノ加入保證金ヲ納付する  
モノ以上ノ

**錢三十圓**

五、客札代金ハ落札ノ日より七月  
右に納入ニ納付セラルヘシ  
郵宛 入札ニ準ズ買受希望者ハ當廳總  
**父**

母の答、猫の目玉  
 餅、東京見物、遠鏡、  
 御國望遠鏡、  
 朝鮮總督府











